

6

青木さんの学級では、一人一人が物語を書いて、発表し合うことにしました。青木さんは、次のように下書きをしたあと、書き直しをしました。そして、書き直しをしたところをグループの人たちに説明しています。【グループでの青木さんの説明】の の中に入る言葉として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【下書きをした物語の一部】

転校生がやって来る日の朝、教室の中は落ち着かなかった。

ガラガラという教室のドアが開く音がした。そこに学級全員の注目が集まった。先生に続いて、男の子が入ってきた。

「今日からみんなといっしょに勉強することになった上田勇二さんです。」

先生のしよかいを全員が耳をすまして聞いていた。その中に首をかしげている女の子がいた。

～（物語が続く）～

【下書きの書き直しをした物語の一部】

転校生がやって来る日の朝、広子は落ち着かなかった。

ガラガラという教室のドアが開く音がした。広子は、身を乗り出して入り口をじっと見た。先生に続いて、男の子が入ってきた。

「今日からみんなといっしょに勉強することになった上田勇二さんです。」

先生のしよかいを聞きながら広子は、首をかしげた。初めて会ったはずの勇二とどこかで会ったことがあるような気がした。

～（物語が続く）～

【グループでの青木さんの説明】

下書きは、教室の全体の様子をながめながら、そこで起きている事実を中心に書きました。でも、その時の人物の様子がくわしく伝わらないのではないかと考えました。

そこで、の立場に寄りそって、細かな動きやその時に感じたことが具体的に分かるように書き直しました。

1 学級全員

2 先生

3 勇二

4 広子